



学校だより

1月号

令和3年1月6日

横浜市立善部小学校
校長 福田 美穂

確実な一歩を

学校長 福田 美穂

あけまして おめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

横浜では、とてもきれいな初日の出が拝めました。いつもと同じように日が昇るのに、なぜか元旦の日の出は特別美しく感じ、すがすがしい気持ちになります。しかし、日本海側では例年以上の大雪が降り、年末年始とも雪下ろし等で大変な地域もありました。お見舞いを申し上げるとともに、そのような状況でも、気持ちよく新年を迎えようと、地域で協力して雪かきをし、自然と共存していく人の強さを感じました。



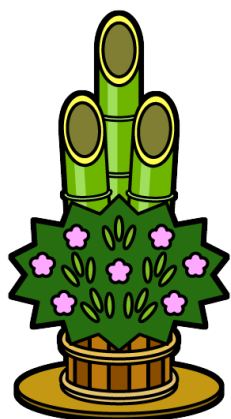
さて、今年の干支は、「丑」。動物では、牛を表しますが、もともとこの字の意味は「紐（ひも）」という漢字と同じ、「むすぶ」とか「つかむ」という意味があるそうです。紐が絡まって丸まっている様子を表し、芽を出そうとしている状態ということです。

新型コロナウイルスであたふたしている現状から、解決の糸口を見つけ、新たな生活、世界が始まろうとしている年なのかもしれません。ぜひそうなっていくよう、みんなで努力し、協力していきたいものです。

私が「牛」にまつわる言葉を意識したのは、小学校の卒業の時でした。担任の先生からこんな言葉を贈られたのです。

牛の歩みは 遅くとも 千里の道も 遠としとしない

私は、なんでもすぐに理解したり、さっさと行動したりすることができない子どもでした。先生の質問に友達が答えるのを聞いてようやく、「そうか、先生はそういうことを聞いたかったのか。」と思ったものです。ピアノを習っていた友達は、どんな楽器も難なく演奏でき、水泳を習っていた友達は、難なく飛込やターンをして速く泳ぐことができました。私はいつも、先生だけでなく友達にも教えてもらって何度も何度も練習し、ようやく、なんとかできるようになる子どもでした。



そんな私を見ていてくださった先生からのこの言葉に加え、「美穂ちゃんらしさを大切にしてください。」と一文が添えられていました。「ゆっくりでもいいから、自分の思う道を一歩ずつしっかりと歩いていけば、今できないこともできるようになるよ、慌てないで、人と比べないで生きていきなさい」と言われたように感じ、とても心が温かく、未来への希望の光が見えました。言葉の力は大きいですね、今でもその時の気持ちをよく覚えているのですから。

今年も子どもたちに、ほっとできる言葉や勇気がもてる言葉をたくさんかける善部小学校でありたいと思います。

保護者の皆様、地域の皆様、今年も学校へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。